



# ジェネリック医薬品 (後発医薬品) について

薬局 高岡 清

問い合わせ  
岩美病院 事務局  
☎73-1421

「鳥取県後期高齢者医療広域連合」というところから「ジェネリック医薬品をお願いします」とのカードが入った手紙が送られているようです。当院の薬局に「どういことだろう」と不審そうな表情で声をかけられることが多くなってきました。突然、見知らぬところから手紙が届けば誰しも不安になります。

「鳥取県後期高齢者医療広域連合」は、後期高齢者の保険者として高齢者の医療給付に関する事務を行っています。その中の一つに、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の差額通知（送られてくる手紙のこと）があります。医療費が増えている今日、国は安く使える後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用を勧めているからです。

岩美病院でも、以前から後発医薬品（ジェネリック医薬品）を取り扱っています。院内の薬事審議会で医師と薬剤師が、効能・効果、適応症、分量が先発医薬品と同等であり、情報提供、安定供給、責任体制が十分であることなどを検討しながら、徐々に先発医薬品を後発医薬品（ジェネリック医薬品）へ切り替え

ています。ですから、当院では「ジェネリックにしてほしい」との申し出の有無に関わらず、後発医薬品（ジェネリック医薬品）への切替を行っており、今後も積極的に後発医薬品（ジェネリック医薬品）の導入を図り、患者さんの負担軽減に努めてまいります。

今まで飲んでいた薬が、後発医薬品（ジェネリック医薬品）へ変更されることがありますが、上記の理由によるものです。その場合には医師、又は薬剤師が説明させていただきます。

ただし、当院では同じ薬で先発医薬品と後発医薬品（ジェネリック医薬品）の両方を取り揃えてはおりません。どちらか一つしかないので、皆様のご希望に沿って、二つを使い分けることができせん。申し訳ありません。その点をご理解をお願いいたします。

今回は、ジェネリック医薬品について「送られてくるカードのこと」と「岩美病院でのご利用」についてお話させていただきました。



# 岩美病院は地域包括医療・ケア 認定施設です



## ① 地域包括医療・ケア を实践する実績が5 年以上あること

認定要件は3項目あります。今回は、その要件を満たした当院の取り組みを紹介します。

岩美病院は、今年7月、(公社) 全国国民健康保険診療施設協議会及び(公社) 全国自治体病院協議会が認定する地域包括医療・ケア認定施設に認定されました。地域包括医療・ケアとは、地域の方が可能な限り住み慣れた地域で、それぞれの身体状態に応じて自立した日常生活を送ることができるよう、治療だけでなく保健サービス(健康づくり)、在宅ケア、リハビリテーション、福祉・介護サービスを一体的に提供するもので、保健(予防)・医療・介護・福祉と生活の連携(システム)のことです。

移転新築し12年が経過したすこやかセンターは、病院と行政の保健・福祉部門が一体となった複合施設で、関係機関で連携の取りやすい体制になっています。町内介護事業所の職員を含めた地域ケア会議、病院長や行政の管理職などで構成する連絡会議を定期的に開催するなど、保健・医療・福祉の連携の強化を図っています。

がん検診等の他、健康教室・健康相談なども行っています。医師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー等が、集落の公民館などに出かけて生活習慣病予防や転倒予防などの講演や介助動作指導を行っています。また、

## ② 所属職員が地域包括 医療・ケアに関する 学会・研究会への参 加又は研究実績があ ること

鳥取県内には4つの町立病院があり、これらの病院と鳥取県国民健康保険団体連合会とで毎年1回、鳥取県国保地域医療学会を開催しています。昨年度は当院の神谷院長が学会長を務め、「地域包括医療・ケアについて改めて問う」超高齢社会への挑戦」をメインテーマとして、講演会や研究発表を行いました。また院内においても研究発表を年1回行い、専門知識と技術の向上に努めています。

## ③ 新臨床研修制度に積 極的に取り組み、研 修医の受入れ・指導 に意欲があること

医師法では、診療に従事しようとする医師は2年以上、医学部を置く大学に付属する病院又は厚生労働大臣が指定する病院において臨床研修を受けなければならぬと定めています。この義務化された研修制度が新臨床研修制度で、研修科目の中に「地域医療研修」が必須科目として設けられています。当院では、この「地域医療研修」を指導する病院として毎年多くの研修医を受け入れていきます。本年度は、県立中央病院から6名、鳥取市立病院から2名の研修医が、5月中旬から11月上旬の間、1人2週間ずつ当院で研修を受けています。当院としては、在宅医療など地域の医療を体験していただき、地域の医師確保に繋げる取り組みを進めています。地域包括ケアについては、国においても高齢社会に対応するため推進している取り組みで、今後ますます重要になってきます。当院においても引き続き、町民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう地域包括医療・ケアの取り組みに努めてまいります。